



JECA FAIR 7万人来場し閉幕 オンライン 7月29日まで開催中

国内最大の電気設備の総合展示会「JECA FAIR 2022」(第70回電気工業展)は、6月1日から3日間、東京ビッグサイトで開催された。7万人が来場し、閉幕した。オンライン版は7月29日まで開催中。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

「JECA FAIR」は、電気設備の総合展示会として、国内外の電気設備メーカーが集結する。今年も、最新の電気設備や、エネルギー関連の技術が展示された。また、オンライン版も開催され、国内外の電気設備メーカーが集結する。

ARCアドバンス・グループ主催、オートメーション新聞など協賛の「年次ARC産業フォーラム2022」が、オンラインで7月12～14日の3日間開催される。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

DXと持続可能性加速 7月12～14日にオンライン

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

「DXと持続可能性加速」は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能性の両方を加速させるための取り組み。今年の特集は「DXと持続可能性加速」。

市場・企業トピックス



マコメ研 AGVを誘導制御 CAN通信対応 ガイドセンサ

マコメ研(長野県長野市)は、CAN通信対応ガイドセンサ「GS-500シリーズ」を開発、6月から販売を開始した。新製品は、AGV(無人搬送車)誘導用センサとして、自動車業界で多く採用されているCAN通信に対応している。また、本体はコンパクトな金属筐体を採用し、従来の製品に比べ小型化を実現するとともに、保護構造もIP67レベルを実現している。独自技術の「可飽和コイル」を用いた高感度な磁気検出により、1フレッドで直進誘導モード出力と左右分岐モード出力が常時出力されるほか、

対応することができ、取り付けの自由度がアップしている。高信頼性が要求される自動車関連産業用途の制御システムに最適。サイズは、GS-530が108×30×20mm、GS-550が116×30×20mm、CAN通信速度1Mbps(最大)。

100万回の屈曲クリア
LAPP 可動用ケーブル
LAPPは、Fast Connect接続対応の可動用ケーブル「LINE C-6」を発売した。同製品は、導体断面が26AWGでU型設計を取り、短い伝送距離での高速度通信を実現している。外

Fast Connect設計で最大の手順でRJ45の従来のコネクタに接続可能。また、好適な従来の各対応ドック子に接続可能。二重シールドを施すことで、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

Fast Connect仕様は、銅編組ケーブル(SFTP)で、ノイズからの保護も実現している。

太陽光発電用 パワコン登場 オムロン

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

オムロン(シーアル)は、2022年4月施行の特定計量制度に対応した産業用リユニオンは、20

tu na ga ru

ユ-エイ ツナガルシステム

Powered by EnOcean Self-powered IoT

IoT × キャスターが世界を変える

ツナガルシステム 特設サイトをチェック

キャスターの総合メーカー www.yuei-group.com

株式会社 **ユ-エイ**

IoTシステムを体験できるショールーム YUEI Technology Center (YTC東京) 詳細はこちら!

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTITE MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.
OTAX SHANGHAI LIMITED
OTAX KOREA CO., LTD.
OTAX CO., LTD.
OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.
AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.
OTAX SEIKI (HESHAN) CO., LTD.
OTAX HONG KONG LIMITED
OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.
OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ
スライド
ピアノ
ロータリー

操作スイッチ
トグル
ロッカー
押ボタン

金属加工関連
アルミニウム加工
MIM・精密ネジ

ヘルスケア
医療機器
ウェアラブル

コネクター
各種コネクター
テストソケット

端子台
FA用
エアコン用

otax オータックス株式会社 TEL : 045-543-5621
H P : www.otax.co.jp
本社 : 〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新町1215

2021年工場立地動向調査

底から脱却 増加転じる

製造業 国内回帰へ 新たな設備投資も期待

コロナ禍から続くサプライチェーンの混乱や世界情勢の悪化を背景とした部材の価格高騰や納期遅延問題に対し、世界各国に散らばった製造業の工場の国内回帰へ、それによる新たなサプライチェーンの構築、国内企業へのビジネス波及効果への期待感がこれまでになく高まっている。実際に、経済産業省がまとめた「2021年(1月～12月)工場立地動向調査」によると、日本国内での工場・研究所の建設を目的とした用地取得は、ずっと減少傾向が続いていたが、21年は増加に転じた。コロナ禍での大混乱によって20年が底だった可能性は大いにあるものの、コロナ禍前後では市場環境も先行き見通しも大きく変わっていることから、国内回帰する工場の増加、新たな設備投資への期待も膨らむ。

経済産業省がまとめた「2021年(1月～12月)工場立地動向調査」によると、2021年中に日本国内で工場・研究所の建設に向けて新たな用地取得が行われた件数は、2020年から27件増加(3%増)の858件となった。取得された面積も128ha増加(11%増)の1万2827haと拡大した。

業種別では、2021年の立地件数は食料品製造業131件(18件増)、金属製品製造業117件(1件増)、輸送用機械製造業86件(27件増)などが増加。一方で、化学工業41件(0件減)、生産用機械製造業81件(19件減)などが減少した。

面積は、食料品製造業2013ha(921ha増)、金属製品製造業1064ha(310ha増)、はん用機械製造業677ha(418ha増)、輸送用機械製造業1444ha(883ha増)など増加した。リーマンショック前後からの15年間の時系列で見ると、リーマンショック前の2007年の用地取得件数・面積は、全体で1791件・2万7407haだったが、リーマンショック直後の2009年に867件・1万3466haと平減。そこから少しずつ戻ってきて、好景だった2017年に1070件・1万4839haまで拡大したが、2020年にコロナ禍を受けて831件・1万549haと後退してどん底となり、2021年は858件・1万2827haに回復して底を脱した。

今後は2017年レベルの1000件・1万5000haが当面の目安となり、さらにリーマンショック前の15000件・2万haレベルに近づけるかものさしとなりそうだ。

業種別では、食料品が8件、飲料・たばこ・飼料、家具・装飾品、鉄鋼、電気・ガス・熱供給が7件、木材・木製品、化学工業、金属製品で1件ずつの立地があった。



2021年に完成した福島県のロボコム・アンド・エフエイコム南相馬工場

福島県 面積全国1位に

東北地方は、88件(8件増)・2171ha(124.3ha増)となり、立地件数、面積ともに増加。県別では、山形県が26件(6件増)・26.7ha(3.1ha増)、福島県が23件(8件増)・125.3ha(103.4ha増)、青森県が17件(13件増)・12ha(7.1ha増)となり、前年を上回った。特に福島県は面積が大幅に増加し、全国ナンバーワンとなった。

業種別では、電気業と金属製品が14件で並び、食料品(12件)、生産用機械(10件)となった。ずっと食料品が上位に位置しているが、19年以降は電気業が増加している。

関東地方(関東甲信越・静岡県)は、310件(6件減)・422ha(10ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加。県別では、埼玉県が40件(18件増)・53ha(35ha増)、新潟県が33件(5件増)・34ha(12ha増)、長野県が29件(9件増)・39ha(27ha増)と件数・面積ともに前年を上回った。茨城県51件(14件減)・99ha(4ha増)、群馬県49件(3件減)・67ha(15ha増)、静岡県49件(5件減)・72ha(8ha増)は面積のみ前年を上回った。中でも茨城県は件数・面積ともに全国2位となった。



2021年に竣工した資生堂大阪茨木工場

業種別 工場・研究所立地のための土地取得件数・面積ランキング (経済産業省 2021年工場立地動向調査より作成)

件数		面積 (ha)	
1位	食料品	131	2,013
2位	金属製品	117	1,566
3位	輸送用機械	86	1,444
4位	生産用機械	84	1,064
5位	プラスチック製品	54	973
6位	鉄 鋼	43	687
7位	化 学	41	677
8位	はん用機械	32	611
9位	電気機械	31	536
10位	電気業	31	501
11位	その他の製造業	28	398
12位	飲料・たばこ・飼料	27	387
13位	窯業・土石	26	357
14位	電子・デバイス	19	299
15位	業務用機械	17	216
16位	木材・木製品	16	213
17位	繊維工業	15	204
18位	家具・装飾品	13	165
19位	パルプ・紙加工品	12	153
20位	非鉄金属	11	147
21位	ゴム製品	8	102
22位	印刷・同関連	6	57
23位	ガス業	4	33
24位	石油・石炭製品	3	13
25位	情報通信機械	3	11
26位	皮革・同製品	***	***
26位	熱供給業	***	***

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

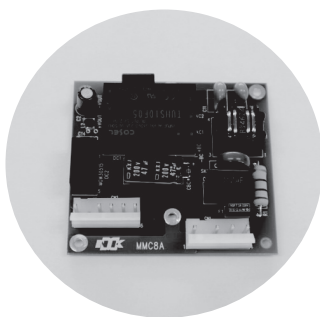
中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

中部地方(愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県)は、152件(5件減)・197.3ha(6.6ha増)となり、立地件数は減少、面積は増加した。県別では、愛知県が60件(増減なし)・67.5ha(14.9ha減)、岐阜県が50件(4件増)・75.5ha(25.7ha増)、三重県が23件(5件減)・40.7ha(4ha増)、石川県が9件(4件増)・4ha増となった。

お客様の「困った」から製品が生まれます



COSEL MMC8 シリーズ 相当品



COSEL ZUS/ZUW シリーズ 相当品



鹿兒島工場
わたしたちにお任せください

POWERED
www.powered.jp

COSEL 商品登録 1000 点以上オリジナル製品も販売中！
在庫品は即日出荷可能



部品調達から実装まで一括管理



日昭無線株式会社
Nissho Musen Co., Ltd

お問い合わせ: 企画開発課 TEL: 03-3255-6693
東京都千代田区外神田 2-13-1

www.nmk.co.jp

